

9.24(振休mon) ザ・芸者ストリングス・カルテットコンサート ～親子で楽しむ名曲の数々～

開演/19:00 会場/セント・ラファエル礼拝堂 料金/2,500円

Program

モーツァルト：弦楽四重奏曲第17番 k.458「狩」より1楽章

この曲の主題が狩りに際して鳴らされるラッパの音に聞こえることから、「狩」という愛称で親しまれている。モーツァルトらしい軽快さと、その親しみやすいメロディー、古典派らしい高雅な雰囲気、弦楽四重奏の魅力が思う存分詰まっている一曲である。

ボロディン：弦楽四重奏曲第2番より1楽章

ボロディンが妻に愛を告白した20周年の記念として、エカテリーナ・ボロディナ(作曲家夫人)に献呈された。19世紀ロシア帝国を代表する室内楽のひとつである。3楽章のヴァイオリンとチェロが交互にうっとりするメロディーを奏でる「夜想曲(ノクターン)」が有名だが今回は1楽章を演奏。

ドヴォルザーク：弦楽四重奏曲第12番 「アメリカ」より1楽章

ドヴォルザークは1892年9月にニューヨーク・ナショナル音楽院の院長として渡米して、黒人霊歌やフォスターの歌曲に大いに影響を受け、交響曲第9番「新世界」を作り上げ、次に手がけたのがこの弦楽四重奏曲である。異国で感じた「故郷の良さ、楽しさ、素晴らしさ」などを練り込み、その手法と魂は日本人の心にぐつとくるものがあり日本では大変好まれている曲となっている。

～休憩～

ジュ・トゥ・ヴー 作曲：エリック・サティ

「あなたが欲しい」日本でもさまざまなシーンに使われているので耳にすることも多いシャンソンの名曲。

イパネマの娘 作曲：アントニオ・カルロス・ジョビン

海岸を歩き去る少女への想いを伝えるボサノヴァ。イパネマ海岸はブラジル、リオデジャネイロ市内にある海岸。

My Favorite Things (マイ・フェイバリット・シングス) 作曲：リチャード・ロジャース

映画『サウンド オブ ミュージック』の中の一曲。ジャズのスタンダードナンバーとしても有名。そして「そうだ京都に行こう」の曲として知っている方が多いのでは？

トーマス 作曲：雪之丞

元々曲名は決めていなかったが機関車トーマスが街を走ったり、カーブを曲がったりしているみたい!というメンバーの意見でトーマスと命名されました!

Birds(バーズ) 作曲：春奴

4羽の鳥達が森の中で、湖のほとりで、山の上で、鳴いたり、羽ばたいたり、急降下したりと様々な様子を弦楽四重奏の響きで現したらちよっと難しめの曲になりました!

赤とんぼ 作曲：山田 耕作

日本の代表的な童謡。夕暮れ時に赤とんぼを見て昔を懐かしく思い出す、という郷愁にあふれた歌詞がつけられている。

村祭り 日本民謡

村の鎮守の神様に豊年豊作を祝って歌われたためたいお祭りソング。

黒い瞳

黒い瞳とはロシア、ジプシーの女性の煽情的な魅力の象徴として用いられており、この曲はその魅力に取り憑かれた男性の激情と苦悩が主題になっている。

All of me(オール・オブ・ミー)私のすべて

1931年に誕生したジャズ・スタンダード。男性が女性に熱烈に想いのたけを歌った歌詞になっている。

Profile



ザ・芸者ストリングス・カルテット

ザ・芸者ストリングス・カルテットは弦楽器の美しい響きを身近に感じてほしいと結成した、女流弦楽奏者で構成される弦楽四重奏ユニット。結成20年目を迎えます。全員が本格的な技術を持つ東京芸術大学出身。ユニット名は古来から伝わる日本女性の芸の心を表しています。各メンバーが源氏名(ニックネーム)を持ち、クラシックのみならずジャズやコンテンポラリーなど多種多様な分野で、多彩なレパートリーとトークを交えた親しみやすい演出で活動しています。年1回の定期ライブは各部をクラシックの大曲、或部をオリジナル曲を含めた各メンバーがアレンジした親しみやすい曲で構成されアットホームな雰囲気のコンサートは毎回大盛況です。リリースした3枚のCD《音舞》《観音》《弦香》はザ・芸者ストリングス・カルテットならではの選曲、編曲、オリジナル曲、各13曲から14曲収録されていて飽きのこない珠玉の3枚となっています。那須の音楽ホール《弦楽亭》ではモーツァルトの弦楽四重奏曲24曲全曲を5年の歳月をかけ演奏してそのコンサートはいずれも好評を博しました。他にも各種ライブ出演、レコーディング、他アーティストとの共演等、様々な活動を行っています。

【ヴァイオリン】矢野 晴子/春奴(左下) 【ヴァイオリン】岩戸 有紀子/雪之丞(左上) 【ヴィオラ】大沼 幸江/紅玉(右上) 【チェロ】矢野 晶子/晶(右下)